

もっと詳しく知りたい方へ・・・

女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、
男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

●文献情報データベース(所蔵検索)

https://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/

【検索キーワード】

女性リーダー、管理職、女性活躍、女性活用、昇進 など

図書の貸出、新聞記事等の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！



女性教育情報センターHP



にいまる にいまる さんまる

202030 未達成

～まだまだ少ない女性リーダー～

女性教育情報センターテーマ展示（4～6月）



<https://www.nwec.jp/event/center/reader20-04.html>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課
〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

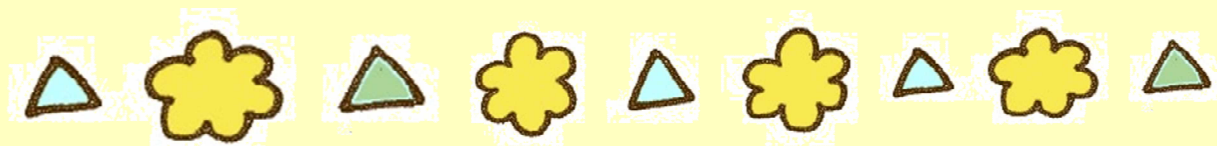
TEL:0493-62-6195

URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>



発行: 2020年4月 本文中画像: amazonより引用



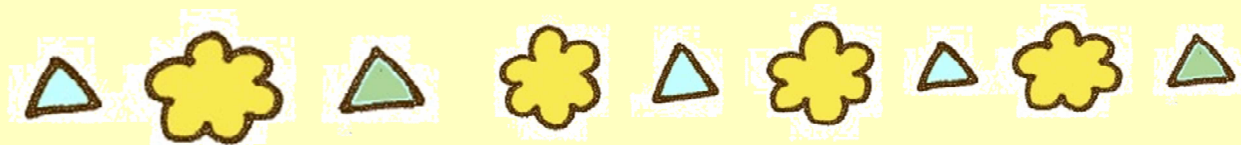


まず
本、あり❑。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///Vol.20///

にいまるにいまるさんまる

202030 未達成
～まだまだ少ない女性リーダー～



202030 とは？

社会のあらゆる分野において、**2020年**までに指導的地位*に女性が占める割合を少なくとも**30%**程度とする目標のことです

2003年6月 男女共同参画推進本部 決定



今年は、2020年だね！
目標の30%は達成できたのかな？

分野の中には、途中で目標値が30%から引き下げられたものもあって、目標は達成できていないんだ。
まだまだ指導的地位に占める女性割合は低いのが現状だよ。

*指導的地位とは

- ①議会議員、②法人・団体等における課長相当職以上の者、
③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者
(2007年男女共同参画会議決定)



指導的地位に占める女性割合



項目	目標値 (期限 2020年)	最新値 (2018年)
民間企業 課長相当職	15%	11.2%
国家公務員 本省課室長相当職	7%	4.9%
衆議院議員 候補者	30%	17.7%
参議院議員 候補者	30%	24.7%
初等中等教育機関 教頭以上	20%以上	17.5%
大学の教授等	17%(早期) 更に20%を目指す (2020年)	16.7%

(参考)内閣府男女共同参画局「第4次男女共同参画基本計画における
成果目標の動向(令和元年6月14日現在)」

地域における男女共同参画推進リーダー研修 ＜女性関連施設・地方自治体・団体＞

2019年度
地域における男女共同参画推進リーダー研修
(女性関連施設・地方自治体・団体)

男女共同参画推進に向けた取組とSDGs
(目標5「ジェンダー平等」)

男女共同参画の推進理念について改めて学ぶとともに、従来のジェンダー平等に関する最新情報や取組事例、国の政策についての最新動向を把握します。また、文部科学省との連携を通じ、地域実情と国政の動向を把握し、SDGs(持続可能な開発目標)が、その目標のうち目標5「ジェンダー平等」を掲げていることを学び、活用することの多くなったSDGsについての理解を深め、これを用いた男女共同参画推進の取組の可能性についても学びます。

2019年5月22日(水)～24日(金) (2泊3日)
◆会場: 国立女性教育会館 (埼玉県・北沢町) ◆参加費: 無料 ◆宿泊費: 1泊1,200円 ◆機内交通費: 3,500円
◆定員: 女性関連施設コース(50名)、地方自治体職員コース(50名)、団練リーダーコース(30名)

基調講演
【講師】
名取 はにわ 氏
学芸大学文化政策研究センター長
元内閣府男女共同参画担当大臣

パネルディスカッション
メディアとアンコンシャスバイアス
治部 れんげ 氏
東京大学大学院経済学系准教授

男女共同参画の歩みとこれから
今年度、男女共同参画推進基本法制定から20年。日本における男女共同参画推進の歴史的背景と基礎的知識を改めて学びます。また、「女性活躍推進法」や「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の制定により、女性が社会のしくみに参画する機会が広がっている現状とこれらについて、国の動向を把握し、活用していきます。

主催 | 国立女性教育会館 共催 | 独立行政法人 独立行政法人 独立行政法人 独立行政法人
国立女性教育会館 協議会 全国女性会館協議会 W20

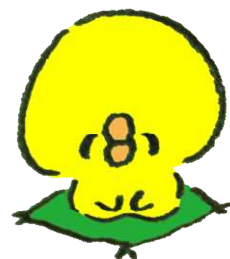
お問い合わせ | 国立女性教育会館 事務局 TEL. 0493-62-6724

2019年度ちらし

NWECでは、男女共同参画社会の形成を推進するため、地域における男女共同参画の推進リーダーを対象とした研修を実施しています！



男女共同参画推進のリーダーとして必要な専門的知見やマネジメント能力、ネットワークの活用力の向上させる研修です。



YouTubeチャンネル

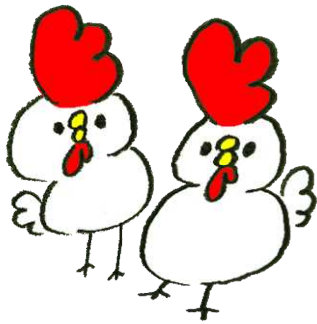


Check

「NWEC CHANNEL」で一部講演を公開中！



URL: https://www.youtube.com/channel/UCkzeiT_hVEttEP-cw8gCnqw



管理職になりたいと思っているけれど不安もあります・・・
リーダーとして力をつけるためにはどんなことが大切なのかな。



『女性管理職1年目の教科書』 野見山玲子, 齊藤麻子著 日本経済新聞出版社 2019

著者は管理職に必要なマインドとスキルを伝える研修講師として活動しています。研修で得た意見や事例を通して、管理職が直面する課題や対処法を紹介しています。管理職の本音や面白さ、仕事上で大切なコミュニケーションなど、キャリア形成に役立つ一冊です。



『女性リーダー4.0：新時代のキャリア術』 坂東真理子著 毎日新聞出版 2016

企業経営にも女性活躍が重要な時代になりました。組織だけではなく女性たち自身も、指示通りに動く「いい子」から「リーダー」へと意識改革をする必要性を説いています。リーダーとしての振る舞い方や部下を育てるヒント、女性が活躍する組織の作り方など実践的なアドバイスが参考になります。



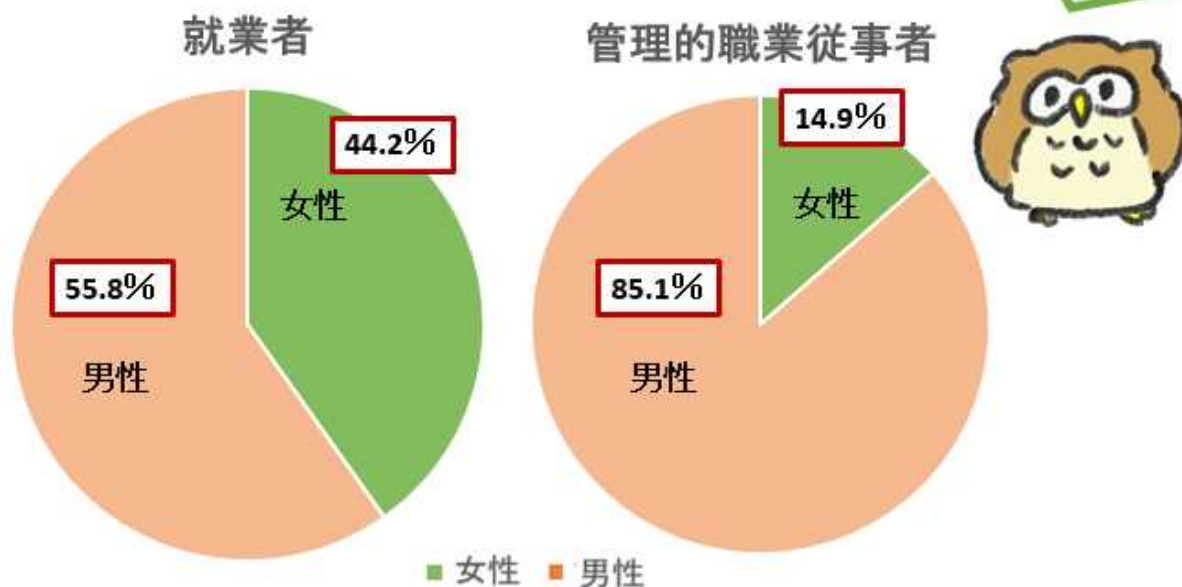
『女性活躍最強の戦略』 小室淑恵著 日経BP社 2015

女性の採用・育成ができない、産休や育休後の復職がうまくいかないといった企業の課題について、解決のための具体的なステップや、成功事例が掲載されています。職場での女性活躍やワーク・ライフ・バランスのとれた働き方のヒントが得られます。

日本の就業者及び管理的職業従事者に占める女性割合

就業者のうち、44.2%は女性です。

しかし、管理的業務をしている人のうち、女性はまだ14.9%にとどまっています。



(参考)総務省「労働力調査(基本集計)」(平成30年)

期待される政界への女性進出

1945年 女性参政権が認められる(日本)

1946年 39人の女性国会議員当選(日本)

1960年 世界初 女性首相誕生
セイロン(現 スリランカ)
シリマヴォ・バンダラナイケ

日本ではまだ
女性で内閣総理大臣に
なった人はいません

データをもっと知りたい方へ



『データでみる女性活躍社会: 考えよう! 女性活躍社会』

孫奈美編 汐文社 2017

働き方、家事・育児、介護など女性活躍に関する10のテーマのデータを紹介。テーマに関する実体験や、データからどんなことが読み解けるのかが解説されています。

女性活躍に関する情報がわかりやすくまとめられており、小学生でも読みやすい本です。



様々な分野で少ない女性リーダー



『日本の女性議員: どうすれば増えるのか』

三浦まり編著 朝日新聞出版 2016

日本では特に政治分野で男女格差が大きいという現状があります。女性の政治参加を阻む要因や、女性議員が増えると政治はどう変わるのか、男性議員と何が違うのかなど、幅広い視点から政治と女性について書かれています。



『女性校長はなぜ増えないのか: 管理職養成システム改革の課題』

河野 銀子著 勁草書房 2017

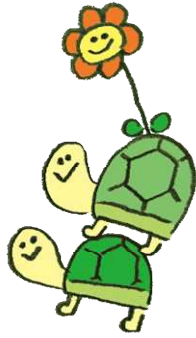
学校現場で圧倒的に少ない女性校長。統計データや、高校の校長を対象に行ったインタビューから現状を分析し、その要因や今後の改善策について検討しています。長時間労働による仕事と家庭との両立の難しさや管理職の登用制度など、教育現場に見られる様々な課題について考える一冊です。



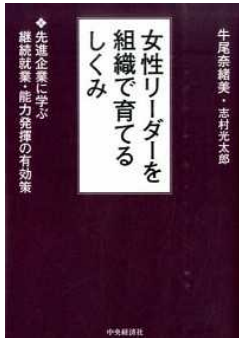
『なぜ女性管理職は少ないのか: 女性の昇進を妨げる要因を考える』

大沢真知子編著 日本女子大学現代女性キャリア研究所編
青弓社 2019

管理職が少ない要因について、女性が管理職を避ける意識はどのようにつくられるのか、リーダー像の思い込みや職場での差別はないかなど、多方面から検討しています。男女ともに今までの管理職の考え方を問い直し、多様性を活かすこれからのリーダーシップのあり方を提起しています。



女性リーダーが活躍している
事例を知りたいな。



『女性リーダーを組織で育てるしくみ：
先進企業に学ぶ継続就業・能力発揮の有効策』
牛尾奈緒美, 志村光太郎著 中央経済社 2014

企業における女性リーダー育成の具体的な方法が紹介されています。支援の制度やプログラムといった事例だけではなく、女性社員自身の体験談もあり、成功のポイントや失敗の克服方法などが参考になります。



雑誌『President woman = プレジデントウーマン』
プレジデント社 2014～

『新しい時代のリーダーとして、情熱的に働きたい女性のためのメディア』がモットーの雑誌です。毎号女性リーダーのロールモデルや、仕事と家庭の両立の工夫、お金の管理など働く女性が知りたい情報が掲載されています。キャリアアップを目指す女性におすすめです。



『女性活躍の教科書：会社を強くする
明日からできる「輝く会社の人材戦略」』
麓幸子, 日経BPヒット総合研究所編 日経BP社 2016

企業の持続的な成長のためにも、女性活躍の重要性は高まっています。女性活躍推進の基礎知識やノウハウなどがまとめられ、先進的な取り組みをしている20社の事例もあり、具体的な施策やその効果、課題を知ることができます。女性活躍について基本から実践まで知ることのできる一冊です。